



高萩市教育委員会  
教育長 大内 富夫

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。並びに、在校生の皆さん、令和三年度の学習活動のご修了、誠におめでとうございます。

卒業生の皆さん、高萩のぞみ大学の四年間は、いかがでしたか。

思い起こせば四年前、会社を退職してすぐに入学、あるいは友人に誘われて入学、少しの不安と期待を胸に、様々な「思い」をいだきながら、入学式（オリエンテーション）に臨んだのではないのでしょうか。そこには、新たな「であい」がありましたね。

パンデミック（コロナ禍）の中でのマスクづくりや卒業生も参加し、大いに盛り上がったレクリエーション大会。「自分で作った経験はありませんでした」が、本当の味が分かるようになってきました。」との声が聞こえた蕎麦作り、などなど。そこには、

仲間との多くの「ふれあい」がありましたね。

また、お箏の演奏体験や郷土の偉人である長久保赤水について学んだり、合同移動学習に出かけたり、そこには、学生時代に戻ったような気持ちの中での「まなびあい」がありましたね。

皆さん、これらの「であい・ふれあい・まなびあい」が、高萩のぞみ大学の大きなテーマであったことを時々、思い出してください。私は、このテーマが、卒業と同時に単なる思い出になっってしまうには、ちよつともつたいないと思っています。

どうぞ、これからの人生を歩んでいく上でも、大切なテーマであることを心にとどめ、次のステップへと躍進されることをご祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

## ご卒業おめでとうございます!



平成30年度 市議会傍聴



令和元年度 移動学習 大谷資料館



令和2年度 移動学習 雲巖寺



平成31年度 卒業生を送る会



4年生の仲間たちと公民館2階ベランダにて

### 高萩のぞみ大学四十七期生



この四年を振り返って  
柴田 昇子

友人からの誘いで入ったのぞみ大学も早四年が経つ。長いようで短い大学生活だった。振り返ると一年、二年の頃は旅行や公民館まつりで、色々な人と出会い楽しい時間を過ごした。

そして三年になると、このコロナウイルスが流行し、今まで通りの生活が困難になり、色々な物が中止になった。諦めざるを得ないものも増えた。

四年になっても事態は変わらず、窮屈な日を送っている。それでもこのウイルスと共存していかなければならない。

でも本当はこの二年も皆さんと楽しく過ごしたかった。名残惜しい大学生活だった。



令和元年度  
お菓子作り



平成30年度  
公民館まつり



四年間を振り返って  
一条 一美子

のぞみ大学に友人達と平成三十年春に入學し、月日の流れは瞬く間に過ぎゆき、いつしか卒業の時期となりました。入学当時は何事も新鮮で向学心に燃えていました。そば打ち体験は私にとって初めてで、とても貴重な経験でした。各学年の校外学習も日本の歴史的に価値のあるご当地の各県を訪問し、先人が苦勞して築いた地域を現在も伝統を守り温存される光景には頭が下がります。私達も多数の観光客の一員として各地を訪れ、過去を偲び訪問できたことは生涯の宝物です。教養を高める講座では市長の講話、落語家のお話がとても参考になりました。軽スポーツ活動では全学年でレクリエーションを楽しみ親睦が図られた事が夢のような気がします。楽しい思い出があれば残念な思いも心に残りました。現在も私達を苦しめている「新型コロナウイルス感染症」が拡散し、日本国全体が巻き込まれ、約二年間活動や生活行動が制限されたのが残念です。振り返ってみますと、先輩方や同窓生の皆さんには大変お世話になり楽しく四年間を過ごす事ができました。皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。



コロナ過の中で  
滑川 政恵

去年三月頃から新型コロナウイルスが流行りだし、毎日のように感染者や死亡者が発表され、幾度となく緊急事態宣言が発令された。その度学習予定や行事が延期や中止となり活動範囲もせましく不規則な毎日でした。九月中頃になって日毎に感染者が減りだし、九月いっぱい緊急事態宣言が解除になりました。長かった自粛生活から元の生活に戻れると期待しつつ、予防対策をとりながらいろいろ楽しみたいと思います。思えば一年生のオリエンテーションで、不安を感じながら皆さまとの出会いに心弾ませていました。柴又に行ったこと、築地、東京湾クルーズ、川越散歩、大谷資料館、市議会傍聴、クラブト、木工教室などいろいろ勉強させていただきました。あといくつかの行事も残っておりますが公民館の職員の方々四年間お世話になりました。



平成30年度  
そば打ち体験